

第2回 生活道路における物理的デバイス等検討委員会 議事要旨

【日時】平成27年6月30日（火） 13:00～15:00

【場所】国土交通省3号館4階特別会議室

【議事概要】

（対策箇所・区間の選定の考え方について）

- 対策を実施すべき交差点はどのように抽出するのかの説明が必要。
- ハンプ等設置の対象となる道路について、要件を満たす道路という表現では分かりづらい。要件は目安として提示し、該当する道路は検討すべきであるということが分かるよう記載内容を再検討すべき。
- 区間単位で対策を検討する場合の説明（例えば抜け道に代替路が無い場合など）を補足すべき。

（計画策定の流れについて）

- エリアに関する計画のフロー図では、道路空間再配分を検討しないと先に進めないイメージが強く、計画策定を進める上でのハードルが高く感じる。検討区間等のイメージを含め再検討すべき。
- 図面を活用して、計画策定の流れを解説してはどうか。

（効果について）

- 物理的デバイスの具体的速度低減効果について記載すべき。

（対策種別について）

- 速度低減の狭窄は、対策交差点及び対策交差点流入部ともに一方通行、対面通行のパターンを記載した方がよい。

（凸部（ハンプ）構造について）

- 歩道に接続して設置する際のハンプの最低限の必要高さの目安を明示すべき。
- 凸部（ハンプ）の側面部（端部）の構造やボラードによる対策について十分に検討すべき。

～ 以 上 ～